



芳賀町長 見目 匡

あけましておめでとうございます。皆さまには希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。日頃から町政に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

町は「躍動する芳賀の町 未来につなげよう」を将来像とする第6次芳賀町振興計画に基づき、まちづくりを進めています。本計画も4年目となり、前期計画の最終年度となります。

宇都宮市と共同で進めているLRT(次世代型路面電車)事業については、昨年5月に起工式を行い、7月には車両のデザインを決定しました。本年は道路拡幅工事などを行い、引き続き2022年3月の開業に向けて取り組んでいきます。

定住人口の増加を図るため造成を進めてきた芳賀町東部住宅団地「祖陽が丘」は、本年2月から一般分譲を開始します。また、栃木県企業局と連携を図りながら、芳賀工業団地第2地区として既存工業団地に隣接した約23ヘクタールの造成工事に着手します。本年3月の芳賀赤十字病院移転に伴い、4月からひばりタクシーの芳賀赤十字病院までの運行を開始します。平日午前7時30分から午後4時30分まで往

復3便を運行しますので、どうぞご利用ください。

福祉分野では、本年4月から、小中学生が県内医療機関で受診した場合に現物給付となるようことも医療費の助成を拡充します。引き続き、町民の皆さまが安心して妊娠・出産・子育てができる環境の整備に取り組んでいきます。

高齢者を中心とした居場所づくり事業は、昨年西高橋、上延生、入江公民館の3地区でスタートしました。町民の皆さまが高齢になっても住み慣れた場所で元気に暮らすことができるよう、事業を拡大していきます。

昨年10月、町内の全自治会の自主防災組織と町との合同防災訓練を初めて実施しました。各自治会においては、それぞれの地域の実情に即した訓練を行いました。今後も継続して実践的な防災訓練を行い、災害に強いまちづくりを進めていきます。

結びに、本年が皆さまにとりまして明るく幸多き一年となりますよう心からお祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

平成31年1月



芳賀町議会議長 石川 保

町民の皆さま、新年あけましておめでとうございます。

清々しい新年を町民の皆さまと迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。2019年が芳賀町民にとって輝かしい一年になりますことを祈念申し上げます。

昨年は自然災害の多い年でした。いつ起きるか分からない災害が頻繁に起きる時代になり、災害に対する対策はより万全を期さなければなりません。限られた財源の中で町民の生命財産を守り、安全安心な生活を優先するための対策に議論を深めなければなりません。

さて、芳賀町においても、いよいよLRT(次世代型路面電車)の敷設工事がスタートしました。芳賀町にとって公共交通の軌道の完成は、将来にわたる発展への起爆剤になることを期待するものです。

LRTにより芳賀町が発展することで、すべての

町民が完成してよかったと思っていただけのように、特にトランジットセンター(交通結節点)周辺の開発は利便性として先見性のある魅力的な開発を行い、大きな発展への中核としなければなりません。

一方、現実的な少子高齢化時代に備え、人口減少問題を改善するために若年層の定住促進対策や子育て支援などに加え、LRTの活用についても具体的な施策が求められます。

課題は多岐にわたりますが、議会としましても、そういった視点に立ち活発な議論を進めてまいります。

結びに、町民の皆さまにとりましても、今年が実りある年となりますようご祈念申し上げますとともに、今後とも芳賀町議会に一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新年のご挨拶といたします。

平成31年1月